

◆高岡市民歩こう会◆

令和7年 4月 6日(日)

岩崎ノ鼻灯台コース(約4km) 予定表

- 9:00 あいの風とやま鉄道 高岡駅改札口前集合
令和7年度開始式
↓
9:43 高岡駅発(氷見線)
↓
9:56 伏木駅着(氷見線)
オリエンテーション、体操、トイレ
10:10 出発
↓
10:30 正法寺
↓
11:00 万葉歴史館……トイレ
↓
11:45 岩崎ノ鼻灯台……昼食、解散



高岡市民歩こう会
発祥之地記念碑
(伏木正法寺境内)



帰りJR氷見線



雨晴駅	⇒	越中国分駅	⇒	高岡駅
12:05	⇒	12:09	⇒	12:26
12:54	⇒	12:58	⇒	13:16
14:32	⇒	14:36	⇒	14:54

正法寺



境内

伏木・正法寺は“昭和の寺”で、故道前泰貴さんが昭和7年に日本の将来を憂い、高岡市二上山麓にこもり、石仏を刻み、お堂を建立しました。その後、昭和13年に永平寺第68代管長の黙堂師を迎えて創建されました。伏木地区では唯一の曹洞宗のお寺で、創建されてまもないお寺ではあるものの他の古寺に劣らぬ重みと壮厳さを感じさせる雰囲気をもっています。

万葉歴史館



『万葉集』の歌人で編者ともされる大伴家持は、天平18年(西暦746年)、越中国守として赴任し5年間の在任中に223首ものすぐれた歌を詠みました。家持が政務をとった越中国庁跡に程近い伏木一宮にある高岡市万葉歴史館は、『万葉集』に関心の深い全国の方々との交流をはかるための拠点として、平成元年(西暦1989年)の高岡市市制施行百周年を記念する事業の一環として建設され、平成2年(西暦1990年)10月に開館しました。

岩崎ノ鼻灯台



岩崎ノ鼻灯台は、富山湾を航行する船舶の道しるべとして昭和26年5月に点灯しました。高台から海と立山連峰を眺めることができ、春には桜が純白の灯台に花を添えます。伏木港が重要港湾に指定され、伏木港整備3ヶ年計画が始まった1951年(昭和26年)に竣工し、同年5月30日に初点灯した高岡市内唯一の灯台です。海面上67m、基礎上12mの白色円筒形鉄筋コンクリート造りで、北緯36度48分30秒、東経137度02分59秒の地点にあります。現在は海上保安庁伏木出張所からの遠隔操作によって稼働し、富山湾を航行する船の安全を守っています。2017年(平成29年)には、恋する灯台に認定されました。